

# 報 告 書

開 催 日 時	平成29年 7月 4日 (火) 19時30分 ~ 21時20分				
自治協議会名	阿波地域住民自治協議会	開 催 場 所	阿波地区市民センター		
出 席 議 員	生中 正嗣、信田 利樹、市川 岳人、空森 栄幸				
	司会者	生中 正嗣	記録者	空森 栄幸	報告者 市川 岳人
参 加 人 数	18 名				

## 【主な意見・提言、対応等】

- ・伊賀鉄道について、公有民営化で毎年3億円の公費を入れていかなければならないが、10年市からお金を補填しなくてよいのか、黒字になるのか。10年先の展望は？議会としてどうなのか。
- ・地域振興基金について  
大山田の収穫まつり、夏まつり、元旦マラソンの交付金が半額になってきている。地域の連帯感を図るイベントであり参加者も多い。財源が厳しいので、補助を多くしてくれないか。
- ・さるびの温泉は指定管理料が入ったの黒字である（2ヶ年）。31年以降どうなるのか。  
要望として空調、ボイラーが老朽化しているので補助してほしいのと入湯税を減免してほしい
- ・行政文書発行業務について、8月末で廃止すると本庁から説明があった。阿波地域は利用者が多い。ファックスの対応を残してほしい。
- ・伊賀鉄道の上野市駅は、なぜ伊賀市になったのに伊賀市駅としないのか。
- ・防災無線機器が31年になるとのこと。機器自体が古いことや、電波がアナログからデジタルへ切り替わることなどは理解しているが、検討しますのあと、どうなるのか詳しく知らされていない。結果だけではなく、話し合いの経過や提案がほしい。

伊賀市議会議長 様

平成29年7月11日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成29年度議会報告会3班

班長 生中 正嗣